

研究ノート

リメディアル教材の試作例（2） －地域・海外で行う課外活動を中心に－

福原慶尚*1

1. 先行研究

大学生の英語力の低下が指摘されている。「指摘」からその処方に回った筆者は、2005年に標題（筆者にとって、全く未知の領域）を取り組み始めた。ねらいは「低下」の要因・背景を検証しながら、従来の教材（観）と教授法を見直すデスクワークとそれを「課外活動」で展開するフィールドワークの企画・実践である。

その概略は、本誌前号（第2巻1号、2009）に紹介されている。

価などの概念や機能を変えることになるかもしれない。その実証的研究が今後の研究テーマとなる。そのためには、学生の胸を借りることは言うまでもない。

2. 本稿の意図

「従来の教材（観）」を見直しながら作成した新教材は三部から成る。

第1部：「英語で遊ぶ」から「英語を学ぶ」へ—学内・自宅・地域・海外の各篇

第2部：なぜ、どのように英語を学ぶ？

第3部：授業を楽しむためのレシピ

この中から第1部の「地域」と「海外」篇の9タイトルを紹介するのが本稿の意図。読者諸姉諸兄のご意見を仰ぐこともこの意図に含まれる。

3. 今後の取り組み

上述の「従来の教材（観）」は、教師主導の‘something to teach with’の傾向が強い。これを、学習者中心の教材‘something to learn about’に転換することで、学生の英語力を回復させるきっかけになると筆者は自負している。この転換は今後、教室・教材・授業・評

*1 山口福祉文化大学 非常勤講師

昔、ユースホステル。今は農家民宿。

1. 田舎に泊まろう！

旅は私にとって、精神の若返りの泉である。

Hans Christian Andersen (1805-75)

今年の G.W. はレポート？ バイト？ デート？

—う～ん、何にしようかな。（綾）
アヤ

えっ、まだ決まってないって！！！

—そうだ、田舎に行って見ない？（ナニワっ子の沙羅）
サラ
なんで？

—田舎の風景や風習を肌で感じたいから。（綾）
—史跡を訪ねたり、町の長老に会ってみたい。（沙羅）



それで決まり！！とにかく、田舎に行けば、
ジュディが言っているように「楽しいことがいっぱい」あるからね。

In the country, especially, there are such a lot of
entertaining things. I can walk over everybody's land, and
look at everybody's view, and dabble in everybody's brook;

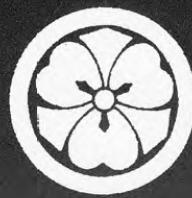
Jean Webster, *Daddy-long-Legs*

「G.W.」と「田舎」の両方を満喫できるメニュー（by Aya, Sara）

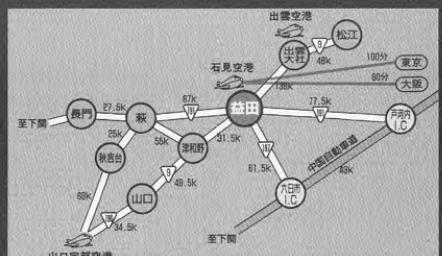
- | | |
|---------|-------------------------------|
| 5/3 (木) | 1. 田舎に泊まろう！ |
| | 2. 昼食はレストランで！ |
| 4 (金) | 3. カントリー ドライブへ！ |
| | 4. 町の長老を訪ねてみよう！ |
| 5 (土) | 5. 「サタデースクール」に飛び入り！ |
| | 6. 「キッズ イングリッシュ」で、いきなりチューターに！ |

そこで、綾と沙羅はさっそく島根の農家民宿「ふくはら亭」へ。

HOME ACCOMMODATION IN SHIMANE, JAPAN



COME
AND STAY
WITH US AT
FUKUHARA-
TEI (ふくはら亭) !!



Access to the Tei



A view over the parkland from the Tei, 1992

Why pay expensive hotel bills when you can stay much more cheaply in a warm and comfortable home atmosphere in Shimane, Japan?

Friendly hospitality in a rural home. Your double bedroom is clean, bright and has a view over parkland from its second floor window. It has its own tea & coffee-making facilities, and there is an adjacent bathroom with shower and WC. The room will accommodate up to three people, and the rate is *only* ¥500 for one person per night. Breakfast is self-service and is taken in the dining room.

Personal guided tours to Tsuwano, Hagi, Yamaguchi are available on request. You can also arrange to have us meet you if you are arriving in Shimane at Iwami Airport.

Thank you.



Ms Rachel Margaret Monaghan
from London, 1994



Front view of the Tei, 1996

For reservations, please telephone : 0856-27-0900
1448 Toda-cho, Masuda-shi, Shimane-ken 6993676, JAPAN

教材工房 : PAPYRUS/Osaka, JAPAN

May, 2000
Shimane

2. 昼食はレストランで！

汝は生きるために食うべきで、食うために生きるべきではない。

Marcus Tullius Cicero (BC106-BC43)

「ふくはら亭」に着いて一休みしたら、近くのレストランで昼食。
昼食と言えば、モームの短編『昼食』を思い出すね。

主人公(若き日の無名のモーム)は、パリの一流レストランで、
中年女性と食事をとる羽目になる。その女性いわく、

I never eat anything for luncheon.

I never drink anything for luncheon.

(モーム、ホッ！)

ところが、彼女は次から次へ料理(次ページの

1.～8.)を注文して、平らげる。

(中年女性特有のあつかましさに、モームはきりきり舞い。)



店を出るとき、モームは文無しになってしまう。

But when I walked out of the restaurant I had the whole month before me and not a penny in my pocket.

(モーム、かわいそう！)

ところが、モーム、痛烈なシニシズムでリベンジ！！



But I had my revenge at last.

To-day she weighs twenty-one stone.

(やったね、モーム！) 1stone=14 pounds =6.35kg

上の英文は、William Somerset Maugham, *Luncheon* より

『昼食』で、中年女性が食べた料理とそのカロリーを計算してくれたのは、綾と沙羅。

DISHES	
I	SALMON - ¥1.500 サーモンのマリネ…サーモン100gあたりのエネルギー→242kcal (Smoked の場合、カロリーが増える)
II	CAVIAR - ¥2.500 テリースのキャビア漬け…キャビア100gあたりのエネルギー→314Kcal (サメの卵という設定で調べた)
III	CHOP - ¥2.800 小羊のチョップ…小羊の100gあたりのエネルギー→227kcal (小羊の肉“ラム”という設定で調べた)
IV	CHAMPAGNE - ¥5.500 モエ・ド・シャンドン…シャンパン1ピ�あたりのエネルギー→160kcal
V	ASPARAGUS - ¥1.200 アスパラガスのクリーム漬け…アスパラガス100gあたりのエネルギー→20kcal
VI	ICE CREAM - ¥1.000 マンゴーアイス…アイス100gあたりのエネルギー→176kcal
VII	COFFEE - ¥900 エスプレッソ(ロング)…コーヒー一杯分のエネルギー→限りなく0に近い (浸出液という設定で調べた)
VIII	PEACH - ¥1.200 季節のフルーツ…桃一個あたりのエネルギー→37kcal
40歳代女性の一日の必要カロリー→2000 kcal	

3. カントリー ドライブへ！

次に来る旅のために、泉を清く保て。
成 吉思汗（1167-1227）

二日目。“『わが町』とボクらの町を比較してみよう。”とふくはら亭の主。

(1)位置：

The name of the town
is Grover's Corners, New
Hampshire-just across the Massachusetts line;
latitude 42 degrees 40 minutes;
longitude 70 degrees 37minutes.★

→

(2)人口：

The population, at the moment, is 2,642.

→

(3)文化：

No, ma'am, there isn't much culture;

→

では、カントリードライブへ出かけよう！
ナビゲーターは「ふくはら亭」の主、次ページのドライブマップは主の手作り。



★この位置を、海図(13260:Bay of Fundy to Cape Cod)で調べてみると、そこは断崖絶壁みたいな所。笑ってしまうね。

(1-3)の英文は、T.Wilder の *Our Town*より。

4. 町の長老を訪ねてみよう！

若いときは、一日は短く一年は長い。
年をとると、一年は短く一日は長い。
Francis Bacon (1561-1626)

カントリー ドライブを楽しんだ日の夕方、綾と沙羅は近くの寺に町の長老を訪ねた。

予めアポをとっておいた住職(80才)に密着すること2時間！

綾がどうしても知りたかったのは、地域の高齢者の考え方：‘いつ死んでもいい。仕事は終わったし、人に必要とされないから’について。

and then he was ready, it seemed, to die; for at sixty-three his work was done, and he was not needed and alone.

Sinclair Lewis, *Young Man Axelrod*

二人は住職の熱弁に聞き入る。その間、みんなにクイズ。

Q1. (上の英文の) 63才が、ある日実現させたことは？

- (1)20才年下の女性と再婚
- (2)全財産を福祉施設に寄付
- (3)自らの波乱に富んだ人生を執筆
- (4)名門大学に入学

A.(4)

Q2. 夢をかなえたはずの彼が、予想外の事態に直面する。それは？

- (1)不治の病
- (2)世間の笑い者
- (3)大学教育の本質と矛盾
- (4)若者との価値観の違い

A.(3・4)

Q3. 高齢者の生きがいと挫折を描いたこの作品名は？

- (1)『風と共に去りぬ』(2)『老人と海』(3)『若者アクセルブロッド』(4)『女の一生』

A.(3)

住職の話から、田舎では高齢者と若者との間に、価値観の違いのあることを知った綾はこんな一節を思い出した。

“Age and youth, I guess they can't go together long.”

“If I saw the boy again, he would get tired of me. I've told him all I've got to say.” *Young Man Axelbrod*

住職に地酒を注ぎながら、沙羅は次の質問を用意していた：「永遠なるものとは？」

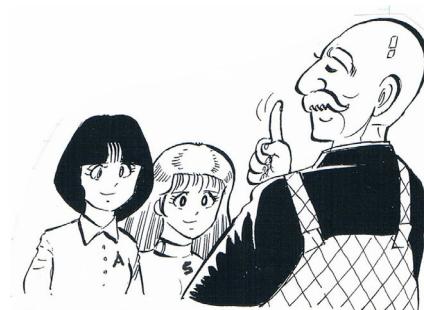
Now there are some things we all know, but we don't take'm ★ out and look at'm★very often. We all know that *something* is eternal. *Our Town*

いわ

住職曰く、答えは「中3のテキストに出ておる」と！！

Life lasts forever and we're part of it. *New Horizon 3*, p.82

この住職がそうであるように、高齢者の中には、激動の
20世紀の 生き証人がいる。その激動を知らない
21世紀生まれは、それに耳を傾け、
22世紀を生きる次の世代に
語り継がなければならない。
人は誰でも、時代の証人であり、
そのメッセンジャーとなり得るのだから__。



★take'm:take them ★ at'm:at them

5. サタデースクールに飛び入り！

若い者は美しい。しかし老いたる者はさらに美しい。
Walt Whitman (1819-92)

三日目。田舎暮らしの最終日。綾と沙羅は町の人たちの文化活動も見ておきたいと意欲的。シンプルな出で立ちのユニクロ ファッションで近くの公民館へ。メモ用紙・デジカメ・「午後の紅茶」・「ネピア」を持って。

沙羅が撮ったサタデースクールの「英会話」講座のスナップ



おや、綾と沙羅が、めずらしいスタンプ(1.~10.は講座のレッスンタイトル)を触っている。

と、そのとき、講師から自己紹介をするように言われ、「えっ、そんな！！」と顔を見合はず二人。

5分後、拍手喝采！！(やったね！)

そして、講座はコーヒーブレーク。
すっかり輪に溶け込んだ二人は質問攻め。
沙羅は *My Way* を即興で歌う。
(再び、拍手喝采！雰囲気、最高潮！)

思いがけず後半のレッスンも受ける羽目になった二人。

ひとあじ　ふたあじ
大学の授業とは一味も二味も違うアットホームな
レッスン体験に二人は感激！

「学ぶことの楽しさ」「余暇の活用」「仲間づくり」「老化防止」を目指して、充実したひとときを過ごす中・高年の受講者に乾杯！！

「老いて学べば、死して朽ちず」

1. SELF
Identity
Emotions
Hygiene

2. INTERPERSONAL RELATIONSHIPS
Family, Friends
Stereotypes

3. BASIC NEEDS
Food
Clothing
Money

4. SOCIAL ACTIVITIES
Mealtimes
Life Rituals
Traditions

5. LEISURE
Hobbies
Arts / Sports
Entertainment

6. EDUCATION
Classroom Basics
Daily Routines
Life-long Learnin'

7. RESPONSIBILITY
Work / Jobs
Community Service
Future Goals

8. CROSS-CULTURAL IDENTITIES
Cross-Cultural Comparisons

10. FINAL PROJECT!

9. CULTURAL CONTEXTS
Geography
History
Environment

6. 「キッズ イングリッシュ」で、いきなりチューターに！

子供は五才までに、その一生に学ぶすべてのことを学び終える。

Friedrich Frobel (1782-1852)

(学童保育対象外)児童の支援の一環として、地域で行われているさまざまな活動に興味をもつ綾と沙羅。2人はさっそく館内で行われている「キッズ イングリッシュ」教室を参観。



Peanut Butter & Strawberry
Jam Sandwich 作り



Shopping 練習を終えて

It's new. It's fun.

It's exciting!

折りしも、2011年度から小学校(5・6年)で、「えいご」が「英語」になる。

この夏、「国際青年育成交流」事業に参加予定の沙羅と綾、ここで Take chances!(紙芝居)『浦島太郎』を、即興で(英訳して)やるんだって！！(何かを学ぶ一番よい方法は、それを教えてみること、と言いますからね。)



沙羅はナレーションと乙姫役。



子供と浦島役は綾。

SCENE 1

Narration : Once upon a time, a young fisherman Taro , was walking on the beach.
He saw some children teasing a big turtle.
Child A : Oh, this is still living.
Child B : Come on. You beat it hard.
Child C : Go to hell.
Turtle: : Ouch! Help me. Please let me go.
Urashima : Poor turtle! Please stop it and I'll give some money to all of you.
Children : Thank you. You may take it.
Turtle : Thank you very much. You've saved my life. You are a very kind man.
So I will take you to our beautiful sea palace. Please sit on my back.

~Song 1~

SCENE 2

Narration : Urashima is sitting at a gorgeous table with a lot of delicious food and drinks.
Beautiful ladies are gracefully waiting on him. He is very pleased.
The beautiful princess comes up to him.
Otohime : Thank you very, very much for saving my turtle's life.
And I welcome you from the bottom of my heart. Please make yourself at home.
I hope you enjoy your stay here.
Lady : Please help yourself to the food and drinks.
Tako : He is a nice man. Everybody feels like loving him.
Lady : How kind you are! I want to fall in love with a man like you.
Hirame : I envy the ladies. I want to sit beside him.
Lady : You knock me out ! I'll do anything you like.
Tako : Hey, he is looking at me. I like him.
Urashima : How happy I am!
Narration : He doesn't know how fast time is passing. He is enjoying himself very much day after day.

~Song2~

SCENE 3.4.はみなさんの創作で。

後日談。「ふくはら亭」を立つとき、2人は「玉手箱」をもらったそうじゃよ。

1. 1つだけの選択肢じゃ、世界で通用しないよ！

全世界を知って、自分自身を知らないものがいる。
Jean de La Fontaine (1621-95)

2010年代に入って、
外では、グローバリゼーションの名のもと、

アメリカンスタンダードが闊歩。
かっぽ

内では、トーキョーナイゼーションが定着している。

内と外。この2つの文化と、そこからこぼれ落ちた国・地域の文化。この両方を視野に入れた考え方と行動が、若い世代(とりわけ、学生)に求められている。

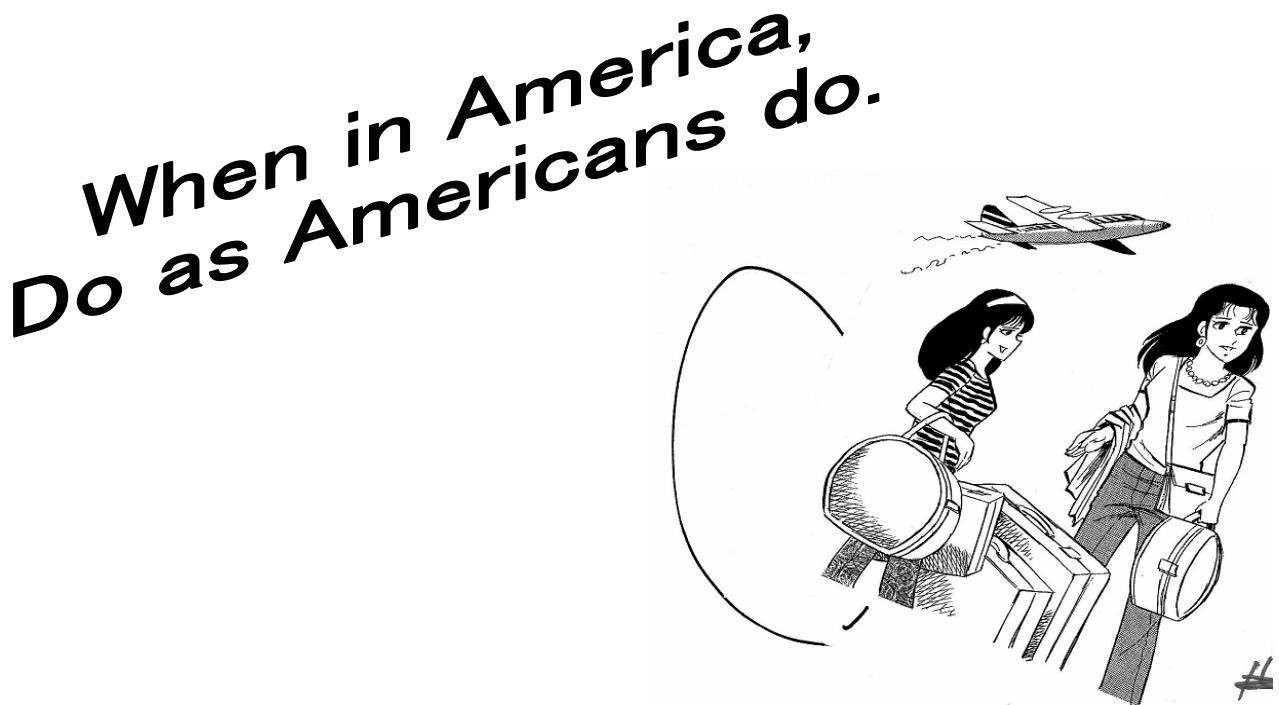
Comparing Populations

	Japan	United States
Area	377,835 sq km	9,372,610 sq km
Population	124,460,481	254,521,000
Ethnic Groups	Japanese 99% Other (mostly Korean) 1%	European American 80% African American 12% Asian American 3% American Indian 1% Hispanic Origin 9%
Major Religions	Shinto 91% Buddhist 72 % Other 13%	Protestant 56% Roman Catholic 28% Other 6%
National Language	Japanese	English
Length Recorded Past	2,200 years	500 years

The Japanese Today, by Edwin O. Reischauer : *The World Factbook*. 1992

ボクの初渡米は‘ドジ’の連続.....

- 1.学生は「査証」(Visa)はいらない。……(×)
- 2.「国際学生証」(International Student Identity Card)を提示すれば、航空運賃は 割引きされる……(×)
- 3.「電子航空券」(Electronic Ticket)で搭乗できる。……(×)
- 4.持ち込んだタバコ・アルコール類は、機内で飲める……(×)
- 5.機内ではケータイやパソコンはいつでも使える……(×)
- 6.客室乗務員(Flight Attendant)にチップを渡した……(×)
- 7.降機後の入国手順は、「受託手荷物受け取り→入国審査→入国」。
.....(×)



かつての敵国で、

2. 「ヒロシマ・ナガサキ」を、訴えたよ！

最も正しき戦争よりも、最も不正なる平和を取らん。

Marcus Tullius Cicero (BC 106- BC 43)

1945年8月6日(月)。

一機の米軍機が、ヒロシマに一個の(原子)爆弾を投下。

その直後、日本の都市に撒かれたビラ：

日本国民に告ぐ！

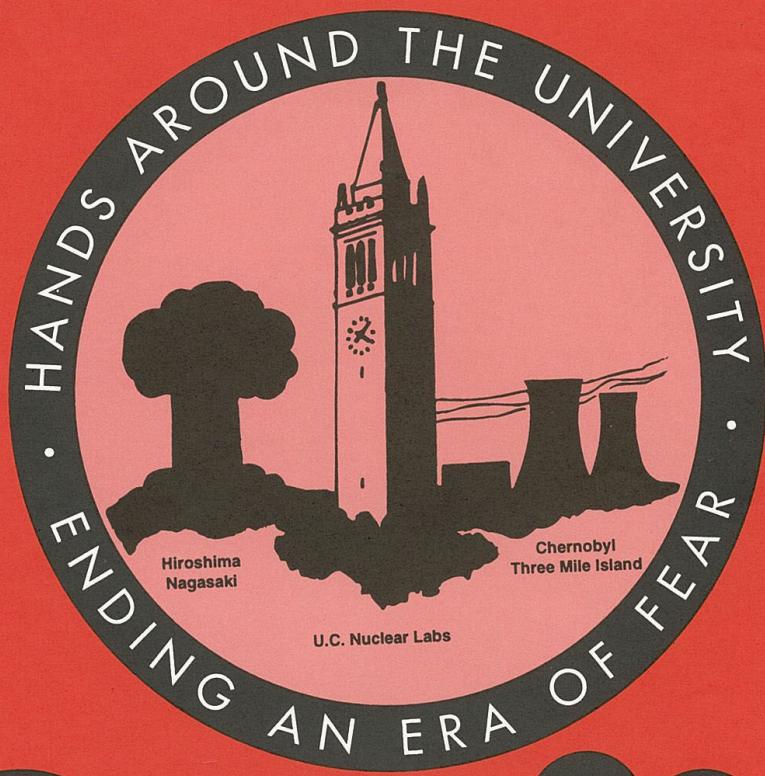
(中略)

諸君は直ちに武力抵抗を中止すべく措置を講ぜねばならぬ。然らば、我等は断乎この爆弾並びにその他凡ゆる優秀なる武器を使用し、戦争を迅速且強力に終結せしめるであらう。★

このビラで、「武器を使用し、戦争を迅速且強力に終結せしめる」という部分の功罪について、ボクはアメリカの学生と話し合った。その時、用意したビラは次ページに。

★チャールズ W. スウィニー, 2000 『私はヒロシマ、ナガサキに原爆を投下した』 原書房.

Remembering Hiroshima and Nagasaki 1945 - 1995



Silent Vigil

around the U.C. Berkeley campus followed by a short program at the West Entrance, Oxford St. & University Ave., Berkeley.

August 6, 1995 3-5 p.m.

with a special guest, Yoshinao Fukuhara from Osaka, Japan.

いち ぱち
一か八かでやった

3. 五目ずしと剣道、受けたよ！

成功の秘訣は、断固として決意にある。

Benjamin Disraeli (1804-81)

茨木市(大阪府)とミネアポリス(ミネソタ州)は姉妹都市。
毎年夏には、いくつかの交流活動が行われている。

活動のひとつに、ボクは早速名乗りを上げた。ミッションは、コンコーディア大学の「Concordia Language Villages Program」(6週間)の Credit Teacher(アメリカの高校生に日本語と文化を教えて単位を与える指導者)。

以下の「日課」をとおして、彼/彼女らは本格的な日本の文化と日本語を学ぶ。

Mori no ike 1999 Daily Schedule

8:00	Kishou
8:45	Rajio Taiso 1
9:00	Asa gohan
9:50	Souji, Shokuin kaigi
10:20	Seito: Chisaikaiwa 1
11:15	Kyukei
11:25	Kurabu katsudo 1
12:20	Kyukei
12:30	Karaoke/Dorama
12:50	Hiru gohan
1:45	Shizuka na yasumi
2:50	Rajio Taiso 2
3:00	Seito: Chisaikaiwa 2
3:55	Kyukei
4:00	Jiyu jikan
5:30	Seito: Kurabu katsudo 2
6:20	Kyukei
6:30	Karaoke/News jikan
6:50	Yushoku
7:55	Kyukei
8:15	Yoru no puroguramu
9:45	Snack
10:00	Ofuro
10:30	Uchi council
10:45	Shoto
11:00	All quiet in uchi
2:00	Sensei Shoto

THIS IS AN EXPERIMENTAL PROGRAM USING IMMERSION TECHNIQUES TO TEACH LANGUAGE.

